|  |  |
| --- | --- |
| シルバー人材センターからの　　　　　お　し　ら　せ | 　　第95号発行大石田町シルバー人材センター2019.9.10 |

　　　　　　さわやかな秋の風が感じられるようになりました

しかし９月にしては異常な真夏並みの暑さが続き体調を崩しがちです。

体調管理には十分注意しましょう。

～ハチに注意！攻撃的な時期の中でも、秋口はとくに注意が必要です。～

蜂が外を飛んでいるのを見かける時期は、3月～11月ごろの間です。巣作りと繁殖を行う

7月～9月ごろが、もっとも蜂が攻撃的になる時期です。巣や繁殖中の女王蜂を守るために

巣に近づくだけで巣の中から何匹も蜂が飛び出し、威嚇してきます。

この時、大きな声を出したり、手で振り払うような行動をしたりすると、興奮した

ハチが集団で攻撃してくる恐れがあるので、出来るだけ静かに後ずさりをしながら

逃げましょう

蜂に刺されると「**局所症状**」か「**全身症状**」かその両方の症状が現れます。

**局所症状**

蜂に刺されると、刺された所に激痛が走り、刺された部分を中心として大きく赤く腫れます。腫れはかゆみへと変わり、かゆみを伴うしこりが残り、約1週間で消えます。このように、**刺された周囲だけに現れる症状を、局所症状**といいます。局所症状の場合は、自宅で応急処置を行いましょう。

**全身症状**

刺されると、吐き気がしたり、刺された所だけでなく全身が痒くなったり、時には全身のじん麻疹を生じることがあります。このように、刺されたところだけではなく**全身現れる症状を、**

**全身症状**をいいます。

全身症状の具体例はこちらです。

**1．軽い症状　　　⇒　 吐き気、発汗、めまい、ふるえ**
**2．中程度の症状　⇒ 息苦しさ、喉のしびれ・乾き、吐き気、**

**頭痛、嘔吐、めまい**
**3．重い症状　　　⇒ 全身のじんましん、血圧降下、呼吸困難、**

**意識障害、激しい動悸**

全身症状が現れた場合には、刺されて15分ほどでアレルギー反応が起こることも！すぐに病院を受診してください。とくに重い症状の場合には迷わず救急車を呼び、すみやかに医療機関を受診しましょう。

現時点で、局所症状のみが現れている場合は、次の流れで応急処置を行います。

1、症状の確認　　2、蜂の針を抜く　　3、毒を絞り出し流水で洗い流す（口で吸ってはダメ）

4、虫刺され用の薬を塗る(抗ヒスタミン軟膏)　　5、冷やす

※痒み、腫れ、痛みが長引く場合は皮膚科を受診してください。